

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	○初期に築く本人との信頼関係が成立しないままにグループホームへの入所が決まり、本人が納得しないままに入所生活が始まることもあり、そのために本人のストレスが増え不安な日々を送らなければならないことから、職員との信頼関係の形成に時間がかかることがある。	利用者と施設側の担当者(ホーム長、管理者など)が入所までに信頼関係を成立させるようにし、入所した時点で不安のない生活が送れるようにする。	入所以前のアセスメントをしっかりと行い、それまでの生活歴や背景を理解したうえで、自宅や施設に訪問して本人から直接、思いや、希望などを聞き取り、家族とも協議、協力を仰ぎながら、入所時点で本人が納得してグループホームでの生活が送れるようにしていく。	6ヶ月
2	33	○利用者の重度化や終末期の支援については関係機関と協議しながら支援していくこととなっているが、現状の職員体制や設備、職員の看取りに関する知識、経験が不足していることから慎重な決定をすることになってしまう。	本人や家族の希望があれば、ホームでの終末期の生活を継続できる体制を作っていく。	職員の終末期の介護についての知識を得るために、終末期ケアに関する研修や実際に取り組んでいる施設などへ見学に行きながら基礎知識を習得する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

